

第十六回 貴族院議事速記録第八號

明治三十五年二月六日(木曜日)

午前十時十三分開議

議事日程 第八號 明治三十五年二月六日

午前十時開議

第一 大藏省證券條例中改正法律案(政府提出案) 會 議

第二 北海道土功組合法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第三 警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ノ費用ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

去ル三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

移民保護法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

北海道鐵道敷設法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

農工銀行法中改正法律案

耕地整理法中改正法律案

同日左ノ政府委員仰付ケラレタル旨政府ノ通牒ヲ受領セリ

農商務省所管事務政府委員 製鐵所書記官 大谷 順 作 君

去ル四日議員男爵末松謙澄君ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ

市會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案

郡費分賦ノ件ニ關スル法律案

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ日程ニ移リマス、大藏省證券條例中改正法律案、政府提出、衆議院回付、會議

(小原書記官朗讀)

大藏省證券條例中改正法律案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治三十五年二月一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

大藏省證券條例中左ノ通改正ス

第三條 大藏省證券ハ割引ヲ以テ發行スルコトヲ得

第四條 大藏省證券ハ百圓以上トシ其仕拂期限ハ十二箇月以内トス

證券ノ形式、種類、利子歩合及割引歩合ハ大藏大臣之ヲ定ム

(政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 本案ハ貴族院ヲ通過シテ衆議院ニ回リマシタ處ガ、衆議院ニ於テ此第四條ノ「大藏省證券ノ仕拂期限ハ十二箇月以内トス」ト云フ間ヘ「大藏省證券ハ百圓以上トシ其仕拂期限ハ十二箇月以内トス」ト云フ即チ「百圓以上トシ」ト云フ字ガ挿入ニナリマシタ譯デゴザイマス此修正ヲセラレマシタ主意ハ、衆議院ニ於テハ大藏省證券ノ如キ信用ノ鞏固ナルモノヲ百圓以下或ハ五十圓或ハ二十圓ト云フ如キ小サイモノヲ出シテ極ク下層ノ資金ヲ吸收スルト云フコトニナルト、或ハ經濟上ニ差支ヲ起スト云フ虞モアルカラ、大藏省證券ハ百圓以上ト極メルコトニシタイト斯ウ云フ主意デゴザイマシタ、ツレカラ其時ニ固ヨリ政府ハ大藏省證券ヲ百圓以下ノモノヲ發行スル意思ハ更ニナイノデアリマス、元來大藏省證券ハ短期ノ仕拂ニシテ且ツ巨額ノ金額ヲ吸收スルノデアアルカラ多ク之ヲ引受ケル先ハ銀行トカ若クハ大資本ヲ有シテ居ル財產家トカ云フヤウナ所ニ引受ケシメル積デアツテ、極ク小サイ所ノ資本ヲ吸收スルト云フ主意デナイ、故ニ縱シ之ガ百圓以上ト云フコトガ書イテアリマセヌデモ百圓以下ノ證券ヲ發行スルト云フ意思ハ更ニナイ、又サウ云フコトヲスル必要モナイノデアアルカラ、サウ云フコトハ法文ニ記入セラレズトモ宜シカラウ、不必要ナコトデアラウト思フカラ、原案ノ通ニ議決ニナルヤウニ請求シマシタガ、衆議院ハ免ニ角百圓以下ノ證券ヲ發行スルヤウナ場合ガ生ゼヌトモ言ヘヌ、其虞ガナイトハ申サレヌカラシテ是ダケノ修正ヲスルト云フコトデ、衆議院ノ方デ可決ニナリマシタ譯デゴザイマス、是ハ前ニ申シマスル通ニ此文字ガ這入ッテ居リマシタ處ガ政府ニ於キマシテハ少モ差支ノアル譯デハゴザリマセヌカラシテ、且ツ又目下此法律ニ依

リマシテ證券ヲ發行シナケレバナラヌ必要ニモ迫ッテ居リマスル譯デゴザイマスルデ、事實ニ於テ此文章ガ這入リマシテモ差支ハゴザイマセズ、又一日モ早ク此法律ノ發布セラレンコトヲ希望致シマスルガ故ニ、何卒是ハ此儘御協賛アラントコトヲ希望致シマス

○村田保君 本員ハ此大藏省證券條例改正ノ委員ノ一人デゴザイマス、ソレデ此衆議院ノ修正ハ甚ダ感服ハ致サナイノデゴザイマス、感服ハ致シマセヌケレドモ、是ガ這入リマシタカラト申シテ決シテ此事ニ害ノアルコトデモ何デモゴザイマセズ、唯今政府委員ガ述ベラレマシタ通差支ヘルコトモゴザイマセヌカラ、本委員ハ委員中デモ衆議院ノ修正ニ賛成ヲ致ス積デゴザイマス、併シ特別委員會ニ於キマシテ斯ウ云フコトヲ加ヘマセヌト申スモノハ一體此四條ノ精神ト云フモノハ、現在ノハ大藏省證券ハ百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓、十萬圓ノ六種ニ分ツコトニナッテ居ル、ソレヲバ今回ハ總テ大藏大臣ニ之ヲ法律デ以テ許スコトニ致シタノデアリマス、ト申スモノハ此百圓以上ト云フコトニ致シマス上ニ制限ヲ置カナケレバナラヌト云フコトガ出テ來マス、且ツ又ソレバカリデハナイ、斯ウ云フコトニ立入ルト利息ノ割合ニモ制限ヲ附ケナケレバナラヌト云フコトニナル、法律上大藏大臣ニ此債券ヲ發シマス權ヲ許シマシタ上ニハ、斯ウ云フ種類ヲ分ツトカ何トカ云フコトハ大藏大臣ニ任スガ宜イト云フ考ヲ以テ我々ハ政府案ニ賛成ヲシタノデゴザイマス、併ナガラ唯今申シマス通是ガ加リマシタト申シタ所ガ何モ害ガゴザイマセヌカラ、私ハ委員ノ一人デハゴザイマスガ賛成ヲ表シマス

○伯爵正親町實正君 私モ此特別委員ノ一人デゴザイマスカラ唯今之ニ附イテノ意見ヲ申述ベマセウト考ヘテ居リマシタガ、今村田君ヨリ既ニ大體ハ御述ニナリマシタカラ別段詳シウ申シマセヌガ、詰リ委員會ニ於テハ今村田君ノ御述ノ如キ理由モアリ、且ツ大體此大藏省證券發行高ノ最高額ト云フモノヲ豫算ニ於テ認メテアル以上ハ其種類證券ノ種類等ノ如キコトハ是ハ大藏大臣ニ一任シテ宜イト云フ考ヲ以テ同意ヲ表シマシタノデ、併ナガラ今政府委員カラモ辯明ノゴザイマシタ如ク衆議院ニ於テ斯ノ如キ修正ヲ加ヘマシタカラト申シテ實際ノ運用上ニハ別段ノ差支モナカラウヤウニ考ヘマスカラ、之ガタメニ態々兩院協議會ヲ求メルダケノ必要モナカラウト認メマス、是ハ此儘衆議院ノ同意ヲ表シテ宜シカラウト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ハ衆議院回付ノ通決シマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ其通決シマス、北海道土功組合法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(左ノ報告書及修正案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

北海道土功組合法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月一日

右特別委員長

子爵鍋島直彬

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(別冊)

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ掲載ス)

第三條 組合員ハ其ノ組合設置地區内ニ於テ組合事業ノ爲直接ニ利益ヲ享クル者及其ノ利益ヲ享クル土地ヲ所有又ハ占有スル者ニ限ル

第四條 組合ヲ設置セムトスル者ハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ニ於テ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ規約ヲ議定シ北海道廳長官ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 北海道廳長官ハ必要ト認ムルトキハ組合加入ニ同意セサル者ニ對シ之カ加入ヲ命スルコトヲ得

第六條 組合員組合費ヲ完納セサルトキハ區町村長又ハ戸長ハ組合ノ請求ニ依リ區町村稅徵收ノ方法ニ準シテ之ヲ徵收ス

第七條 國庫ハ組合事業ニ對シ其ノ費用ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

第八條 本法ニ基キ北海道廳長官ノ爲シタル處分ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第九條 組合事業ヲ施行シタルカ爲土地ノ登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

第十條 組合ハ主務大臣、北海道廳長官及北海道廳支廳長之ヲ監督ス

第十一條 本法ニ定ムルモノノ外土功組合ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル)

○子爵鍋島直彬君 本案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、本案ノ委員會ハ兩度開キマシテゴザイマス、此北海道ノ農業村ノ有様ハ他府縣

ノ村トハ餘程事情ヲ異ニシテ居リマスノデ、政府委員ヨリモ極テ細カナ説明モゴザリマシタ、尙ホ委員中ニハ北海道ノ事情ニ餘程精通シテ居ラレル方々モゴザリマシテ種々ノ質問モゴザリマシタ、反覆審議ノ末ニ諸君ノ御手許ニ配付セラレテゴザリマスル即チ修正案ノ如ク新ニ三箇條ヲ加ヘマシテ修正可決致シマシタル次第デゴザリマス、段々政府委員ノ説明答辯等ニ依リマシテ委員會ニ於テモ此法案ノ必要ナルヲ認メマシタル所以ノ大體ヲ申上ゲマス、北海道ハ御承知ノ通、村ノ數ガ大約五百六十、其中ニ明治三十年ノ勅令ニ依ッテ一級町村制ニ組入レラレマシタルモノガ町村ヲ合セテ十六箇所デゴザリマス、其他ハ彼ノ明治十七年ノ布告ノ郡區町村編制法ト云フノニ依ッテ組織セラレタルモノデゴザリマシテ、マダ二級町村制ニ組入レラレタルモノハゴザイマセヌ、此十六箇所ノ外ト云フハ今日如何ナル有様デアルカト申スト、是ニハ戸長ト云フノガゴザリマシテ二名ノ總代ガ村民ヲ代表シテ一村ノ事ハ此總代ガ戸長ト協議ヲ致シテ總テ處分ヲ致シテ居ルト云フ有様デゴザイマス、戸長ノ數ハ百六十人、ツレ故一人ノ戸長デ數村ヲ兼務致シテ居ルト云フ有様デゴザイマシテ、從來村役場ノ費用ノ如キモ總テ國庫ヨリ支辨サレテ居リマシタノデゴザイマス、昨年ヨリ漸ク地方費デ辨ズルヤウナコトニナッテ居リマス、凡ソ北海道ノ一級町村制ニ組入レラレナイ其他ノ村ノ程度ト云フモノハ斯ノ如ク甚ダマダ幼稚ナル有様デアルノデゴザイマス、ツレ故ニ此村内ノ水利土木等ノ費用ハ昨年マデハ全ク國庫ヨリ支出ニナッテ居リマシテ、例ノ北海道會法ト云フモノヲ發布セラレテヨリ地方費ヲ以テ支辨スルコトニナッテ居リマスガ、目今一村ノ事業トシテ爲シテ居マスモノハ僅ニ小學校ノ費用ト或ハ衛生等ノ費用ノコトニ過ギマセヌノデゴザイマス、扱其一村内ノ部落ノ有様ハ如何ナモノデアルカト申シマスルト、一村中ニ部落ノ多イ所ハ六七箇所モゴザイマス、其一部落ノ戸數ト云フモノハ、多イ所ガ百戸内外、少キハ十戸若クハ二十戸坏ト云フヤウナ有様デアル、北海道ノ村ト稱ヘマスルノハ餘程大キナモノデアッテ廣袤十里若クハ十五里坏ト云フヤウナ殆ド内地ノ郡ヨリモ大キイト云フヤウナ地形デゴザリマス、ツレデ一部落又ハ二三部落ノ小サナ部分ノタメニ一村ノ事業トシテ爲サレナイト云フノガ往々ニゴザイマスルノデ、北海道ノ移住民ハ御承知ノ通近年著シク増加致シマシテ年々五万乃至六万ノ移住民ガゴザイマスルト云フ有様、追々開拓ノ事業モ進ムニ從ヒマシテハ移住民モ此水田ヲ開クコトノ利益アルコトヲ段々悟リマシテ之ト同時ニ道路橋梁水利等ノ土功ヲ起スノ必要ニ迫ラレテ參ッタノデゴ

ザイマス、然ルニ理由書ニモゴザイマスル通國庫費若クハ地方費ノミニテ其事業ヲ舉ゲルト申スコトハ是ハ到底出來ナイコトデゴザイマシテ、又市町村ノ全體ノ事業トシテ爲スコトモ出來マセヌノデゴザイマス、ツレデ北海道ノ村ハ實ニ斯ノ如ク廣大ナル面積ヲ有シテ居リマシテ移住民ハ此廣大ナル村ノ所々ニ散在シ部落ヲ成シテ居ルノデゴザイマス、其部落ト部落トノ間モ餘程隔絶致シタルモノモゴザイマス、例ヘバ一村中ニ於テ東部ハ排水ガ必要ト云フウヤナ有様デアリマシテ、之ニ反シテ西部ハ全ク用水ノ缺乏ヲ告ゲルト云フヤウナ事情ノ反對致シテ居ル事柄ガ多クデゴザイマス、ツレ故ニドウモ或ル一部ノタメ、又ハ二三部落ノタメニ一村ノ事業トシテ爲サレナイト云フ事情ガゴザイマスル、故ニ此前途拓殖事業ノ發達ヲ圖ルニハ此法案ノ如キ一種特別ナルモノヲ設ケラレナケレバナラヌト云フ必要ガアルノデゴザイマス、現今デモ此協議上ヨリ私ニ組合ヲ設ケテ部落ノ土功事業ヲ爲シツ、アルモノモゴザイマスル、ト申スコトデ、其數ハ凡ソ二十四位ノ組合、此私ニ組合ヲ設ケテ土功ニ從事シツ、アルナレバ其自然ノ發達ニ任セテ置イテモ宜シイデハナイカト云フ考モナイデモゴザイマセヌガ、此私ノ協議上ニ成立ッタ組合デハ第一、法律ノ制裁ト云フモノガゴザイマセヌ、ツレガタメニ組合ノ組織モ甚ダ不完全デアリ、且ツ協議ガ一致致シ兼ネマスルノデ、例ヘテ申シマスルト、用水ノコトノ如キモ水ヲ引カントスル時ニ當ッテ其水源ノ方ノ少數ノ者ガ承諾致シマセヌケレバ出來マセヌ、又排水ノコトニ於テモ高イ所ニ在ル人ガ排水ニ著手セント致シマシテモ低イ所ニ在ル僅ナ人ガ同意致シマセヌト云フヤウナコトガゴザイマスルト、矢張其事業モ出來マセヌト云フヤウナ面倒ヲ生ズル、殊ニ此移住民ト申スノハ御承知ノ通各縣諸所ヨリ集リマシタ者デゴザイマシテ、種々ノ感情等ノタメニ往々此協同一致ヲ缺クト云フコトハ免レヌノデゴザイマス、ツレガタメニ事業ハ甚ダ困難デ舉リマセヌ、ツレ故ニ此法律ヲ施行セラレマスルトキニハ第一右標ナル少數者ノ妨ナカラシメテ事業ヲ發達セシムルコトヲ速ナラシムル利益ガゴザイマス、是ガ此法律ノ必要ナル第一ノ點、第二ハ移住日淺クゴザイマシテ資力ニ困難ナル部落デモ水利等ノ事業費ニ關シマシテハ巨額ノ資金ヲ要シマスヤウナコトガゴザイマス、之ヲ他ヨリ借入レルト云フ必要アルトキニ拓殖銀行又ハ勸業銀行等ヨリ借入レント致シマシテモ私ノ組合デゴザイマシテ法律ノ認メナイモノデゴザイマスルカラ無抵當デ借入レルト云フコトガ出來マセヌノデゴザイマス、然ルニ此法律ニ依ッテ法人ノ資格ヲ有シマスルトキニハ無抵當デ拓殖銀行等ヨリ資金

ヲ借入ル、ト云フコトノ便ヲ得マスルノデゴザイマス、此二ツノ事柄ハ此法律ヲ設ケテ拓殖事業ノ發達ヲ圖ル上ニ於テ最モ要點トスル所デアル、理由書ニモゴザイマスル如ク到底國庫ノ費用ノミヲ以テ前途益増殖致シマスル所ノ各部落ノ土功事業ヲ舉グルト云フコトハ餘程困難デゴザイマス、到底出來ナインデゴザイマス、又地方費町村費等ヲ以テ便ズルト云フコトモ是モ甚ダ困難ナルコト、前ニモ述べマシタル如ク此特別ノ法律ヲ發シテ其利害ノ直接關係アル所ノ組合ヲ設ケシムルコトハ實ニ己ムヲ得ザル今日拓殖事業上ニ於テノ急務デアルト云フ、右ノ理由ニ依リマシテ委員ハ大體ニ於テハ此法律ノ必要ヲ認メマシテ贊成ヲ致シマシタ、尙ホ委員中ヨリ修正意見ノ提出ガゴザイマシテ全會一致デ其修正ヲ贊成シテ本案ヲ可決致シタル次第デゴザイマス、其修正ハ即チ此原案ノ條ニ附イテ修正致シマシタルデハゴザイマス、全ク新ニ此朱書ノ四條七條八條ヲ加ヘマシタルデゴザイマス、其事ハ此原案第三條第一項ノ次ニ新ニ一條ヲ加ヘマシタル、即チ朱書ノ第四條デゴザイマス、是ハ說明ヲ爲シマセヌデモ明ナル事柄デゴザイマシテ、組合組織ノ初ニ當ッテハ必ズ其規約ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クルト云フコトハ總テ此水利組合、勸業組合其他ノ法律ニモハ第一ニ掲ゲテアルコトデアル、政府ニ於テハ北海道ノコトハ從來簡易ヲ旨トスル故ニ是等ノモノハ即チ勅令ノ規定ニ委ネテ置イテ宜シイト云フ意見デアッタノデゴザイマスルガ、委員會ニ於テハ組合組織ニ附イテハ最モ重要ノ件デゴザイマスル故ニ之ヲ法律ニ掲グルコトガ正當デアルト云フノデ、一條ヲ加フルコト、致シマシタル、政府ニ於テモ之ニ對シテハ少モ異議ハゴザイマセナシタ、此一條ガ新ニ加リマシタルメ、且ツ此原案ノ第三條ノ二項「北海道廳長官ハ」ト云フ此二項ハ別ニ之ヲ條ト致シマシタル然レベシト云フ意見デ之ヲ第五條ト致シマシタル、斯様ニ致シマシタル故ニ自然ノ結果、原案ノ第四條ハ第六條ト爲リマシタル、次ニ又新ニ一條ヲ加フルト云フコトニ致シマシタル、即チ朱書ノ第七條、此條ハ北海道ニ於テハ移住日淺キ者ガマダ澤山ゴザイマシテ、殆ド日々ノ生活ニスラ苦シムト云フ有様デゴザイマス、デ居住ノ如キモ概ネ極ク粗末ナル假小屋ニ居テマダ永住スベキ家屋杯ノ建築モ出來マセヌ、又其開拓スル所ノ土地ト申スモノハ一戸デ三町乃至五町歩位デ必ズ數町ノ土地ヲ開拓シ、又農作上ニ右様ナ數町ノ土地ヲ開拓スルニハ必ズ馬匹ヲ使用スルト云フコトノ必要ガゴザイマシテ、隨テ又之ニ要スル小屋等モ設ケヌケレバナラヌ、段々年ヲ經ルニ從ッテハ墳墓ノ地モ定メナケレバナラヌ、寺院モ立テネバナラヌト云フヤウニ永住ノ目的ヲ

以テ種々ノ事ヲ爲サネバナラヌコトガ段々ト生ジテ參リマス、是ハ己ムヲ得ヌコトデゴザイマシテ、是ヨリ移住民ノ爲スベキコト、云フモノハマダ餘程前途遼遠ニシテ種々ナ事柄ガゴザイマス、其上今後ハ地方費其他ノ負擔モ益々増加スルト云フコトニナツテ參リマスル、土功ノ事業ニ向ッテ此法律ノタメニ一時幸ニ拓殖銀行等ヨリ資金ノ借入ヲ爲スコトノ便利ヲ得ルトハ申シマスルモノ、此極メテ薄弱ナル部落ノ移住民ノ力デナカク容易ニ借入レタル資金ノ返済ヲ致スコトハ困難デアアル、ツレデ此拓殖事業ノツレガタメニ進歩ヲ妨ゲ遂ニハ資金ハ借入レテ返済モ出來ズ、爲ニ此農業上ノ衰退ヲ招クコトニナリハセヌカト云フ氣遣ヨリ砂防法トカ其他ノ法律ニモ國庫補助ノ條ヲ掲ゲテゴザイマス、ツレ故ニ矢張此法律ニモ土功組合ニ對シテ國庫ヨリ補助スルト云フコトノ明文ヲ法律ニ掲ゲテ拓殖事業ノ進歩ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ主意ヨリシテ此條ヲ掲ゲマシテゴザイマス、或ハ此補助ノコトヲ法文ニ掲ゲテ示シタルトキニハ續々土功組合願ヲ出シマシテ國庫ハ其補助ニ堪ヘヌト云フ恐ハナイカト云フ心配ノ說モゴザイマシタルガ、決シテサウ云フコトハナイ、從來ハ總テ是等ノ土功ノ事業ハ全ク國庫費デ辦シタルモノヲ此前此法律ニ依ッテ法人ノ資力ヲ以テ事業ヲ起スト云フコトニ致シマスレバ國庫ノ支出ハ決シテ増加スルコトハゴザイマセヌ、殊ニ本年ハ四月一日ヨリ此法律ヲ施行サレマスルガ、此組合組織ヲ致スマデ其出願ヲシテ認可ヲ得マスルト云フコトニハ色々手數ヲ要シマスルコトデ本年ニサウ續々多數ノ組合ノ願ヲ出スト云フヤウナコトハ萬ナイト云フ考デ、此補助ノコトガ出マスルタメニ國庫ガ補助ニ堪ヘヌト云フ心配ハ決シテナイト申ス政府委員モ辯明デゴザイマシテ、ツレ故ニ此條ヲ掲ゲマシテ少モツレ等ノ氣遣ハナイト云フコトデ、委員中ニ於テモ安心ヲ致シマシタル、政府ニ於テモ此補助ノコトハ勅令ヲ以テ規定セラレル積デアッタノデス、此三十五年度ノ豫算ノ歲出臨時部內務省所管ノ第十一款拓殖費ト申スモノ、第一項ノ殖民事業費ト申ス内ニ此法案ノ土功組合ニ對シテノ補助ノ金モ包含シテ居ルノデゴザイマス、即チ內務省所管ノ豫定經費要求書ノ六十三頁ニ出テ居リマス、此第一項ノ殖民事業費ノ第六目ニ共同事業助成金ト云フノガゴザイマス、右ノ備考ニ「明治三十三年勅令第二百五十五號北海道ニ於テ農業者ノ設立スル產業組合ニ關スル件第四條ニ依リ組合創立費ノ貸與金其ノ他土功組合事業等ノ助成金」斯様ニ備考ニ出テ居リマス、此土功組合ト申シマスルノハ即チ此法案ノ組合ヲ申シタルデゴザイマス、ツレ故ニ政府ニ於テモ實際補助ノ必要ヲ認メテ居ラル、故ニ素ヨリ之ヲ

法律中ノ一箇條ニ掲ゲルコトニ附イテハ政府ニ於テモ別ニ異議ハナイト申スコトデゴザイマス、ソレデ此條ヲ加ヘマシタ所以デアリマス、其ノ次ニ又一箇條ヲ加ヘマシタ、即チ朱書ノ第八條、是ハ細ナル説明ヲ要シマセヌ、例ヘバ北海道廳長官ガ強制加入ヲ命ジマスル場合ノ如キ之ニ對シテ不服アル者ハ上級監督廳ニ訴願スルノ途ヲ開イテ置イテ人民ヲシテ冤枉ナカラシムルト云フ主意ニ外ナラヌノデゴザイマス、是ハ訴願ヲ許ス件ハ他ノ法律ニモ幾ツモ出テ居ルコトデ、即チ列記法ニ依ッテ此訴願ヲ許ス途ヲ此法律ニ掲ゲルガ至當デアルト云フノデ掲ゲマシタ、政府ニ於テモ此訴願ヲ許スト云フコトモ矢張勅令ニ委ネル積デアッテ決シテ訴願ヲ許サナイト云フ積デアナイノデゴザイマスル故ニ之ヲ法文ニ掲ゲルノガ至當ナリトシテ茲ニ一箇條ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、其以下ハ總テ原案ノ通デ、修正ノ箇條ガ加リマシタルト、ソレト原案ノ第三條ノ二項ヲ條ト爲シマシタ結果、此條數ガ變リマシタマデノコトデアリマス、既ニ委員會ノ筆記ガ諸君ノ御手許ニ配付セラレマシタ、ソレヲ御一覽ニナリマシタナラ本員ノ述べマシタルコトヨリモ尙ホ細ナ事柄ガ御分リニナリマセウト存ジマス、委員會ハ僅ニ兩度デハゴザイマシタガ、委員ハ一人ノ缺席モナク政府委員ノ説明答辯ハ餘程精密ニゴザイマシテ委員ハ質問審議ヲ十分ニ盡シマシタ、又修正案モ反覆討論ノ末ニ決定致シマシテ政府ニ於テモ此修正案ハ少モ異議ハゴザリマセヌ、何卒此修正案御贊成アラシコトヲ望ミマス、此修正ノ箇條ニ附イテ本員ハ一通リ大體ヲ述べマシタ、或ハ説明ノ足ラヌヤウナ所ガゴザイマスルナラバ此修正案ヲ提出セラレマシタル委員ノ方ヨリ尙ホ十分補ウテ御説明ナサルデゴザイマセウ、又此北海道拓殖事業ノ現今ノ有様又北海道ノ如キ町村ノ地理上等ニ附イテ御承知ニナリタ事柄ガゴザリマスルナラバ是ハドウカ政府委員ニ御質問ニナルヤウニ致シタウゴザイマス、尙ホ申上ゲマスガ、此委員會ノ結果トシテ修正モ一箇條ナラズゴザイマスルガ、此修正ハ先ニモ申述べマシタル通決シテ原案ノ箇條ニ附イテ修正致シマシタノデハゴザリマセヌデ、政府デハ勅令ニ委ネルト云フ意デアッタノヲ重モナル事柄ト認メテ此三ツノ事柄ヲ此法律案中ニ加ヘタト申スマデノコトデゴザイマス、政府ニ於テモ唯今マデ度々申述べマシタル如ク總テ此修正ハ法律ニ掲ゲルコトニ異議ガナイト申スコトデゴザリマスル故ニ何卒讀會ヲ省略セラレテ直チニ議決アラシコトヲ望ミマス

○田中源太郎君　チヨット委員長ニ質問致シマベルガ、此四條ヲ御設ケニナツタ主旨ハ御都合ノ宜シイコト、思ヒマスガ、特ニ五條ヲ御殘シニナツタノハ少シ分リ兼ねマス、例ヘバ此土功組合ノ自由ニ任シテ此法律デ制裁ヲシテ少シク強制ヲシヤウト云フコトニナツテ居ルノデ、ソレハ此四條ノ修正デ三分二以上ノ同意者ヲ得テ始テ設立スルト云フコトニ御修正ニナリマシタガ、然ルニ此五條ノ「道廳長官ハ必要ト認ムルトキハ組合加入同意セサル者ニ對シ之カ加入ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトノ一條ヲ加ヘマスルト餘程干涉ノ力ガ強クナルヤウニ思ヒマス、即チ三分ノ二以上同意ノナイトキニ例ヘバ三分ノ一ヨリ設立シヤウト云フ者ガナイトキハ後ノ三分ノ一ヲ道廳長官ガ命ジテ組合ヲ設立サセルト云フヤウニナルヤウニ思ハレマス、是ハドウ云フ必要カラ此條ヲ御殘シニナリマシタモノカ、修正ノ御主意デ五條ヲ御殘シニナツタ御法意ヲ少シク御説明ヲ願ヒマス

○子爵鍋島直彬君　御答ヲ致シマス、此第四條ヲ加ヘマシタルコトニ附イテハ唯今御質問ノ事柄ノ如キコトハ委員會デハ別ニ議論モ何モゴザイマセヌ、唯本員ノ此四條ニ「三分ノ二以上」ト云フコトガアルノハ總テノ法案ニモ組合ト云フヤウナモノヲ組織スルニハ人員ヲ何十人以上トカ何トカ云フ必ズ制限ガゴザイマス、ソレデ組合ハ例ヘバ六十名ノ村デアレバ三十名以下ノ人ガ同意シテ組合組織ヲ願出ヅルト云フヤウナコトデハ甚ダ不完全ノ組合ニナリマスルノデ、必ズ組合組織ノ願ヲ出シテ認可ヲ經ルニハ例ヘバ六十戸ノ部落デアレバ四十戸以上ノ人ノ必ズ同意ヲ得テ創立總會ヲ開イテ認可ヲ經ナケレバナラヌト云フコトニ致スト云フ主意ト本員一人デハ其通考ヘテ居リマス、唯今御質問ノ事柄ハ委員會ニ於テハ特ニ議論モ何モゴザリマセヌ、又此組合加入ニ同意セザル者ハ強制加入ヲ命ズルト云フコトハ最モ此法律ノ要用ナル點デアッテ是ガナイト云フト拓殖事業ハドウシテモ擧ラナイ、ソレガタメニ若シ長官ノ處分ガ不當ノコトデアレバ訴願スルノ途モ法律ニ明ニ掲ゲルト云フコトニナツテ居ルノデゴザリマス事柄デ、委員會ニ於テハ別ニ議論モ何モゴザリマセヌデゴザリマス、唯今申上ゲマシタノハ本員一人ノ考ヲ申上ゲルノデ……

シ分リ兼ねマス、例ヘバ此土功組合ノ自由ニ任シテ此法律デ制裁ヲシテ少シク強制ヲシヤウト云フコトニナツテ居ルノデ、ソレハ此四條ノ修正デ三分二以上ノ同意者ヲ得テ始テ設立スルト云フコトニ御修正ニナリマシタガ、然ルニ此五條ノ「道廳長官ハ必要ト認ムルトキハ組合加入同意セサル者ニ對シ之カ加入ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトノ一條ヲ加ヘマスルト餘程干涉ノ力ガ強クナルヤウニ思ヒマス、即チ三分ノ二以上同意ノナイトキニ例ヘバ三分ノ一ヨリ設立シヤウト云フ者ガナイトキハ後ノ三分ノ一ヲ道廳長官ガ命ジテ組合ヲ設立サセルト云フヤウニナルヤウニ思ハレマス、是ハドウ云フ必要カラ此條ヲ御殘シニナリマシタモノカ、修正ノ御主意デ五條ヲ御殘シニナツタ御法意ヲ少シク御説明ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君)　他ニ御發議ガナケレバ採決シマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスルニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君)　然ラバ二讀會ニ移スベキモノト決シマス

○男爵小澤武雄君　本案ハ段々修正モゴザイマスケレドモ既ニ修正案モ數日前ニ諸君ノ御手許ニ回ッテ居リマシテ御熟讀ニナツテ居ラウト考ヘマスニ依ッ

テ引續イテ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○子爵鍋島直彬君 賛成

〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス

○田中源太郎君 直チニ二讀會ヲ開カレマシテ咄嗟デゴザイマスルデ、別ニ此場デ賛成者ヲ得タイ積デゴザイマス、此五條ヲ削除スルト云フ意見ヲ提出シマス、理由ハ簡短ニ述べマスルデゴザイマス、此第五條ヲ御設ケニナツタコトハ極ク宜イ修正ト存シマス、然ルニ此第五條ヲ置イテ置キマストキハ第四條ノ修正ハ全ク其修正ニナリマシタルダケノ甲斐ガナイコトニナツテ仕舞ヒマス、私ハ第五條ハ全ク削除シタイ意見ヲ提出シマス

○村田保君 田中君ノ修正ガ出マシテ之ニ賛成者ハゴザイマセヌカラ別ニ述べル必要モナイト存シマスガ、先刻田中君ガ御質問ニナリマシタノハ少シ本員ハ主意ヲ讀ミ違ヘラレハシナイカト思ヒマス、ソレデ御質問ガ出テ或ハ削除ノ御説ガ出タラウト思ヒマス、大變ニ是ハ田中君ハ御疑ガアルガ、原案ノ主意デハ四條デハ決シテマダ組合ニナラヌ、三分ノ二以上是カラ組合員ヲ作ツテ五條デ組合ノ成ツタ後ニ這入ラヌ者ニハ北海道廳長官ガ入レルト云フノデアリマスカラ先程ノ御質問ハ少シ本案ヲ御讀達ニナツテ居リハシナイカト考ヘマス

○田中源太郎君 是ハ全ク村田君ノ御問達ドラウト私ハ存シマス、組合ニ同意セザル者ト云フ……此三分ノ二ノ同意ガアリマシタラバ即チ組合ハソレデ成立ツノデ、三分ノ一ノ者ハ三分ノ二ノ者ニ強制サレル、即チ土地整理法ニモ共通アリマス、同意シタ加入者三分ノ二ノ中ノコトヲ申スヨリ外ナイ、三分ノ一ノ不同意者ハ縱令不同意デモ此三分ノ二ニ強制サレルコトニナリマスルノデ、サウシテ土地整理法ニモ共通アリマス、ソレデ私モ同意セザル者ト云フト既ニ三分ノ二ノ内裏ノモノガデス、ソレヲ勸メルヨリ他ニ用ハナイ、後ニ殘ツタ不同意者ノ三分ノ一ヲ特ニ命令シテ這入レルト云フ必用ハ少モ要ラナイ、若モ御説ノ如クデアルト、尙ホ更此處分ハ要ラナイコトニナリマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君何デスカ

○村田保君 少シク辯解シテ置キタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 辯解ハイケマセヌ、二回ノ發言ハイケマセヌ、第一條、第二條、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第三條ノ第一項即チ修正ノ方デハ是ハ第三條ニナツテ居リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ原案ニ決シマス、修正ノ第四條

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○平山成信君 今ノ村田君ト田中君ノ御問答ニ附イテ少シク疑ガ起ツタノデアリマスガ、政府ノ御解釋ハドウナツテ居ルカ、チヨット念ノタメニ一應伺ッテ置キマス

〔政府委員白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白仁武君) 此修正ノ第四條「三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ」ト云フ、此三分ノ二ト申シマスモノハ、此事業ノ利害關係者ノ中ノ詰リ多數ヲ探ツタ譯デアリマスノデ、ソレデ其多數ノ人ガ思立チマシテ此組合ヲ設ケルト云フコトニナリマシタ上デデス、其他ノ者ニ尙ホ組合ニ加入ヲ命ズルノ必要ガアリマスル時分ニハ、長官ハ之ニ加入ヲ命ズルト云フ主意デアリマス、詰リ三分ノ一ノ者ガ……三分ノ一ノ中、必要ナルモノヲ強制加入致スト云フ精神デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ第五條、是ハ削除説モ出テ居リマスルカラシテ起立ニ問ヒマス、田中君ノ削除説ニ同意ノ方ハ起立ナサレヌデ、ソレデ宜シウゴザイマス、第五條、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔ドチラデスカト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 原案デス

○子爵大田原一清君 原案ノ決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 無論其積リデアリマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数デアリマス、原案ニ決シマス、第六條、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第七條、第八條

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、第九條ヨリ終マデ、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレデハ第二讀會ハ是デ終リマシタ

○子爵鍋島直彬君 日程ヲ變更シテ直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ三讀會ヲ開クニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレデハ三讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ノ費用ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔小原書記官朗讀〕

警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ノ費用ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

監獄則第一條ニ依リ警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ニ關スル費用ハ總テ警察費ヲ以テ之ヲ支辨ス但シ其ノ費額ニシテ北海道地方費及府縣ノ負擔ニ屬スル部分ハ命令ノ定ムル所ニ依リ監獄費ヨリ之ヲ償還スヘシ

附則

本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來監獄所屬ノ物品ニシテ警察署内ノ留置場ニ設備セルモノハ本法施行ノ際之ヲ北海道地方費及府縣ノ所屬トス但シ警察費ノ國庫支辨ニ屬スル地方ハ此ノ限ニ在ラス

〔政府委員久保田貫一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(久保田貫一君) 本案ノ提出ノ理由ヲ一應申述ベマスルデゴザイマス、警察ノ留置場ニ拘禁ヲ致シマスル者ノ費用ハ從來監獄ノ支辨ニ屬シテ居リマシタ故ニ當今ニ於キマシテハ即チ國庫負擔ニナツテ居リマスルノデゴザイマス、而シテ其費用ノ中ニ就キマシテ、拘禁者ノ食費……飲食ノ費用、若クハ療治ノ費用……療氣ノ療養費デス、ツレ等ノ如キハ直ニ金錢ヲ以テ仕拂ッテ居リマス、其他衣服臥具若クハ食器、之ニ類シマスル所ノ物品ニ關係ヲ致シマスルモノハ總テ實物ヲ以テ監獄ヨリ警察ニ設備ヲ致シテ居ルコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、所ガ何サマ多數ノ物品ノ點數デゴザイマシテ唯今ノ所デ大凡三萬餘點ノ物品ニナツテ居リマスル、其物品ヲ一千四百バカリゴザリマスル警察署若クハ分署ニ一々其物品ノ設備ヲ致シマスルコトデゴザリマスルカラ頗ル其受授若ハ保管ニ附キマシテ手數ヲ要シマスルコトハ煩雜ヲ極メテ居リマスルノデゴザイマス、此事ハ勿論監獄費ノ國庫支辨ニ移リマスル以前ヨリ餘程困難ヲ感ジテ居リマスルノデゴザイマスガ、併ナガラ監獄費國庫支辨ノ以前ニ於キマシテハ、警察費モ監獄費モ合セテ地方稅ノ支辨ニナツテ居リマシタガ故ニ其整理方モ多少融通ガ附キマシテ格別ノ困難ハ感ジマセナンドノデゴザイマス、監獄費國庫支辨ノ後ニ至リマシテハ、嚴肅ナル物品會計ノ規則ニ據リマシテ是等ノ物品ヲ整理致シマスルコトデゴザイマスルカラ、煩雜ノ手數ハ一層ノ煩雜ヲ極メマシテ目下頗ル困難ヲ感ジテ居リマスルノデゴザイマス、是ハ管ニ監獄ニ於キマシテノ、混雜ヲ致シマスルノミデゴザイマセヌ各警察署若クハ分署ニ於キマシテモ監獄ノ主管ニ屬シマスル物品ヲ預リマシテ之ヲ物品會計規則ニ照シマシテ保管維持ヲ致シマスルコトデゴザイマスルカラ、警察ノ方デモ餘程ノ混雜ヲ致シテ居リマスルコトデゴザイマス、故ニ將來ハ此方法ヲ改メマシテ即チ此法案ニゴザイマスル通ニ物品ノ取遣リハ一切之ヲ止メマスルコトハ勿論、是マデ金錢デ仕拂ッテ居リマシタ所ノ仕拂方モ食費ニ幾ラ、若クハ療養費ニ幾ラト申シマスル仕拂方ハ一切止メマシテ、一切ノ留置人ニ關係ヲ致シマスル費用ヲ舉ゲテ警察費ノ支辨ニ移シマシテ、之ニ代フルニ一方ヨリハ監獄費ノ中ヨリ相當ナ金額ヲ定メマシテ、一定ノ額ヲ以テ之ヲ償フコトニ致シマスルコトヲ望ミマスルノデゴザイマス、デ斯ノ如ク相成リマスレバ表面ノ名義ハ變リマスルコトデゴザイマスルガ、其實ハ矢張監獄費國庫支辨ノ實ハ失ヒマセヌコトニナリマスル、又國庫モ地方費モ經濟上ニ於キマシテハ互ニ相損益スル所ハゴザイマセヌ、而シテ

一方ノ事務ノ上ニ於キマシテハ警察監獄共ニ少カラザル手數ヲ省キマシテ之ガタメニ利益ヲ見マスルコトハ容易ナラヌコトニ相成リマスノデゴザイマス、之ヲ要スルニ此案ノ主旨ハ煩雜ナル手數ヲ省キマシテ事務ノ簡便ニシテ便利ナルコトヲ圖リマスルニ外ナリマセヌ次第デゴザイマス、尙ホ詳細ノコトハ委員會ニ於キマシテ申上ゲマスルコトニ致シマスデゴザイマス

○男爵船越衛君 チョット質問ガゴザイマス、唯今此初ニ監獄則第一條ニ依リ「云々トアル其費用ハ總テ警察費ヲ以テ之ヲ支辨ス但シ其ノ費額ニシテ北海道ニ云々ト斯ウゴザイマスガ、警察費ヲ以テ支辨スルト云フノモ北海道地方費及府縣ノ負擔所謂地方稅デゴザイマス、此分チハドウ云フモノデゴザイマスカ、警察費ハ國庫カラ補助ガゴザイマスデ、ソレヲ分ケテ府縣ニ屬スル地方稅ノミヲ又別ニ國庫カラデモ償還スル斯ウ云フ主意デスカ

〔政府委員久保田貫一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(久保田貫一君) 船越男爵ノ御尋ニ御答ヲ申上ゲマス、警察費ハ御承知ノ如ク殘ラズ地方費デハゴザイマセヌ、唯今御述ノ如ク、即チ此沖繩縣若クハ小笠原島其他ノ如キハ全ク國庫ノ支辨ニナツテ居リマス、詰リ此法案ニ但書ヲ加ヘマシタノハ從來ヨリ今日ニ於キマシテ現ニ國庫カラ支辨ヲ致シテ居リマスル所ノモノニハ本條ノ手數ヲ省キマス、要スル所唯帳面ノ取遣リニ過ギマセヌヤウナコトニナリマスカラ其手數ヲ省キマシテ國庫ノ負擔ニ屬シマセヌ即チ地方稅ノ負擔ニ屬シマスル部分ニ向ッテ償還ヲ致シマスル考デゴザイマス

○男爵船越衛君 唯今ノ御說デ主旨ハ分リマシタガ、餘程簡便ニスルノガ一ノ要點デアルガ、之ヲ又國庫カラ償還スルトカ云フコトニナルト隨分煩ハシウハゴザイマセヌカ、總テノ費用ヲ一時警察デ支辨シテ置イテ、ソレカラ幾分ハ地方稅、ソレヲ又國庫デ拂フ、斯ウナツテ食料カラ總テノモノ皆分ケテ行カナケレバナラヌ、サウスルト矢張煩雜ハ免レヌヤウニ思ヒマス、手數ガ餘程掛ル其邊ハ如何

○政府委員(久保田貫一君) 尙ホ御答ヲ申上ゲマス、唯今御尋ノ如キ混雜ハ現今ノ手續ニ依リマスゴザイマス、食費ハ食費トシテ拂フ、療治料ハ療治料トシテ拂フ、尙ホ其上ニ品物ヲ一々送ッテ居リマスノデゴザイマス、是ガ頗ル煩雜デゴザイマスカラ是カラハ食費トシテ幾ラ拂フ療治料トシテ幾ラ拂フト云フコトハ無論致シマセヌ、又物品モ送リマセヌ、一切ノ費用ハ皆地方稅デ支辨致サセマス、サウシテ一切ノ費用トシテ一定ノ額ヲ給シマスルコト

ニナリマスカラ手數ハ頗ル省ケマシテ是マデノ困難ハゴザイマセヌコトナリマス

○男爵船越衛君 分リマシタガ、モウ一ツ御尋シマスガ、假ニ警察費デ支辨スルモノハ其儘ニシテ置ケバ尙ホ手數ハ省ケマセウ、割合デ渡シテ行クト云フコトガナシニナレバ尙ホ便利ニナリハシマセヌカ

○政府委員(久保田貫一君) 尙ホ御答ヲ申上ゲマスルガ、左様致シマスルト、詰リ監獄費ノ國庫支辨ト申シマス所ノ實ヲ失ヒマシテ地方ノ警察費デ監獄費ヲ支辨致シマスルト云フ次第第二相成リマス、左様ニ相成リマシテハ穩當ト認メマセヌ、故ニ矢張費用ハ監獄費デ拂フト云フコトガ適當デアラウト云フ考デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ委員ノ選舉ニ移リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、唯今御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ノ費用ニ關スル法律案特別委員

伯爵廣澤金次郎君	子爵新莊直陳君	男爵船越衛君
平山成信君	男爵金子有卿君	中島永元君
森山茂君	宮島誠一郎君	飯尾麒太郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明後日開會ヲスルコトニ致シマシテ、其日程ヲ御報道致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

午前十時開議

第一 明治三十五年度歲入歲出總豫算案並明治三十五年度各特別會計歲入歲出豫算案(政府提出案)(議院送付)

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(政府提出案)(議院送付)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ハ散會

午前十一時十六分散會